

国際調査団の参加メンバー (順不同)

1 日本の調査団員

石澤 良昭 上智大学アジア文化研究所長・教授、団長
 牛川 喜幸 奈良国立文化財研究所・藤原京発掘調査部長
 中山 淑 上智大学理工学部・教授
 千原大五郎 上智大学アジア文化研究所・客員教授
 伊藤 延男 神戸芸術工科大学・教授
 馬場 俊介 名古屋大学工学部・助教授
 河野 靖 上智大学アジア文化研究所・客員研究員
 坪井 善明 北海道大学法学部・教授
 井川 一久 朝日新聞社・編集委員
 山本 勇 日本石材協会・名誉会長
 盛合 禎夫 東北工業大学・教授
 中尾 芳治 帝塚山学院大学・教授
 酒井 幸 弁護士
 藤木 良明 株式会社スペース・ユニオン・社長
 浅井 和春 東京国立博物館法隆寺宝物室・室長
 益田 兼房 文化庁文化財保護部建造物課・主任文化財調査官
 上野 邦一 奈良女子大学・教授
 宮川 朝一 建設省国際課・協力官
 重枝 豊 日本大学理工学部・研究員
 遠藤 宣雄 上智大学アジア文化研究所・客員研究員
 鍵岡 正謹 高知県立美術館長
 ラオ・キム・リアン 財団法人品質保証機構 (JQA)・研究員
 中島 節子 奥羽大学・助教授
 塚脇 真二 東北大学理学部地圏環境科学科・研究員
 杉山 洋 奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部・主任研究官
 成田 剛 早稲田大学理工学部建築学科建築史研究室・研究員
 木寺 安彦 カメラマン
 木村 勉 財団法人文化財建造物保存技術協会・企画室長代理
 ペン・セタリン 東京外国語大学・講師
 谷本 ボラ 株式会社津電業・技師
 横山 潤 東京大学理学部附属植物園・研究員
 長谷部光泰 東京大学理学部附属植物園・助手
 高橋 宏明 フノンベン芸術大学・講師
 古尾谷知浩 東京大学・研究員
 古尾谷徳浩 武蔵大学・研究員
 佐々木 陸 上智大学アジア文化研究所・職員
 工藤真紀子 上智大学アジア文化研究所・職員
 寺尾 倫子 アシスタント・コーディネーター
 本橋 栄 上智大学アジア文化研究所・客員研究員
 松井 生子 長崎大学・研究生
 高橋真理子 神戸芸術工科大学・研究生

2 外国人団員

Mr. Vann Molyvan Minister of Royal Gouverment of Cambodia, Architect 建築学 (カンボジア)
 Dr. Claude Jacques バリ大学高等学術研究院・研究部長 (EPHE) カンボジア碑刻学 (フランス)
 Dr. Alain Forest Ingenieur de recherche, C.N.R.S. カンボジア近代史 (フランス)
 Dr. Corneille Jest Directeur de Recherche, C.N.R.S., 民族学 (フランス)
 Mr. Robertson Collins Member of ICOMOS, 文化観光工学 (イギリス)
 Mr. John Sanday World Monuments Fund, 建築学 (アメリカ)
 Dr. Brumo Bruguier Research Fellow, E.F.E.O., 建築学 (ベルギー)
 Mr. Oleg Samorodni Research Fellow, エストニア・アカデミー, カンボジア文化史 (エストニア)
 Mrs. Lori Arglin Architect, 建築学 (カナダ)
 Mr. Scott Cunliffe Architect, 建築学 (オーストラリア)
 Mlle. Christine Havisbrok Junior Researcher, Université ParisIII, 図像学 (フランス)
 Mr. Nikom Musigakama タイ教育省芸術局・次長 (タイ)

3 カンボジアの調査団員

Mr. Chuch Phoeurn フノンベン芸術大学・副学長兼考古学部長、考古学
 Mr. Hor Lat フノンベン芸術大学・建築学部長、建築学
 Mr. Heng Bun Tong フノンベン芸術大学・造形美術学部長、造形美術
 Mr. Pich Keo フノンベン国立博物館長、考古学
 Mr. Koum Sorith フノンベン芸術大学・講師、地質学
 Mr. Bou Sophoun フノンベン芸術大学建築学部・教授、建築学
 Mr. Sek Kim Sorn フノンベン芸術大学考古学部・教授、考古学
 Mr. Kim Sophat フノンベン芸術大学考古学部・教授、考古学

4 ユネスコ・オブザーバー

Dr. Richard A. Engelhardt Unesco Liaison Officer for Cambodia, 考古学 (フランス)
 Mlle. Veronique Dauge Unesco Associate Expert (フランス)
 Mme Minja Yang Head of the Task Force on Angkor (日本)

5 遺跡エンジニアリングに関する技術者

三橋 公彦 鹿島建設㈱バンコク事務所・次長
 植田 真 ㈱バスコ・計測課技師、考古学
 遠藤 良正 東洋トランスポート㈱・取締役、調達・輸送

(*所属・肩書は参加当時のもの)

アプサラ会

在日カンボジア人の親睦と相互援助、経済的・社会的地位の向上をはかり、また祖国での教育、福祉活動への援助をすることを目的として1993年3月に発足し、現在は、主としてカンボジア文化の伝承と伝播のため、古典芸能、宮廷舞踊を披露し友好を深めている。

グイキム チャイ NGOY KIM CHIAI

1967年カンボジア、ブノンベン生まれ。画家を志してブノンベン芸術大学に在学していたが、内戦のため夢を絶たれてしまいタイのカオイダン難民キャンプに入り生活、子ども達に絵を教えていた。

7年前に難民として来日、神奈川県大和市の大和定住促進センターで約6ヶ月間日本語や日本の生活、習慣について勉強した。

1992年11月に調布市北部公民館で初めての個展を実施、好評を得た。

1993年4月祖国カンボジアのアンコール遺跡をスケッチするため里帰りしスケッチをもとに絵の制作に取り組んでいる。現在、大和市に在住、アプサラ会の代表として活躍している。

チェット チャンクリスナ CHETH CHAN CHRISNA

1971年ブノンベン生まれ。11歳の時からカンボジア伝統宮廷舞踊家のサルン・モニーラ氏、ムーア・ソーカン・ナリ氏（両氏とも現在アメリカ在住）に師事、以後アプサラの舞を踊り続けている。

4年前に来日して以来、全国で宮廷舞踊を披露している。また、日本にいるカンボジアの子ども達に伝承文化として「アプサラの舞」を教えている。

また、2年前グイ キム チャイ氏と知り合い結婚、アプサラ会の中心メンバーとして活躍している。